

## セクション 1：製品名及び会社情報

**製品名**

ポリエチレン手袋 内エンボス ロングタイプ

**会社名**

株式会社 MonotaRO

**所在地**

〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階

**担当者名**

商品お問合せ窓口

**電話番号**

0120-443-509

**FAX 番号**

0120-289-888

**緊急連絡先**

所在地と同じ

**整理番号**

M200518

**材料名**

LDPE（低密度ポリエチレン）、LLDPE（直鎖状低密度ポリエチレン）、ゴム、青色ポリエチレン

**製品用途**

食品加工用手袋

**使用制限**

知見なし

安全データシートの提供者の詳細

## セクション 2：危険有害性の要約

**29 CFR 1910.1200 のパラグラフ(d)に従った分類**

分類基準に従って必要なし

**GHS ラベル要素****シンボル**

分類基準に従って必要なし

**注意喚起語**

分類基準に従って必要なし

**危険有害性情報**

分類基準に従って必要なし

**注意書き****予防措置**

分類基準に従って必要なし

**応急措置**

分類基準に従って必要なし

**保管上の注意**

分類基準に従って必要なし

**廃棄上の注意**

地区/地域/国/国際規則に従って内容物/容器を処分する。

## セクション 3：組成、成分情報

CAS	組成名	パーセント
9002-88-4	低密度ポリエチレン	46.5%
9002-88-4	直鎖状低密度ポリエチレン	46.5%
9006-03-5	ゴム	5%
	青色ポリエチレン	2%
青色ポリエチレンの成分		
147-14-8	青色顔料 15:3	14%
557-05-01	ステアリン酸亜鉛	4%
9002-88-4	低密度ポリエチレン	66%
9002-88-4	ポリエチレン	16%

#### セクション 4 : 応急措置

##### 吸入した場合

有害な影響は予想されない。

##### 皮膚に付着した場合

アレルギー症状が現れた場合、直ちに使用を中止する。医師の助言/診断を受ける。

##### 眼に入った場合

有害な影響は予想されない。

##### 飲み込んだ場合

通常の使用条件のもとで健康への影響は予想されない。気分が悪い場合、医師の助言/診断を受ける。

##### 最も重要な症状/影響

##### 急性

有害な影響は予想されない。

##### 遅発

有害な影響は予想されない。

##### 即時医療処置及び特別治療が必要な兆候

対症療法及び補助治療を受ける。

#### セクション 5 : 火災時の措置

##### 消火剤

##### 適切な消火剤

水噴霧、泡、二酸化炭素、粉末消火薬剤

##### 不適切な消火剤

情報なし

##### 本化学物質から発生する特別な危険有害性

火災による危険有害性は予想されない。周辺火災に曝された場合、燃えることがある。本製品の分解時に、刺激性および/または有毒な煙やガスが発生することがある。

##### 危険有害な燃焼生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

#### 火災時の措置

周辺火災に対して適切な措置を講じる。火災の場所から製品を除去する。物質または燃焼副生成物の吸入を避ける。下水道、排水溝、地下または閉鎖空間および水路への侵入を防ぐ。

#### 消火を行う者の特別な保護具と注意事項

自給式呼吸器を含む完全防火消防用具を着用し、暴露の可能性を防止する。

### セクション 6：漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適用なし。

#### 封じ込めと清掃

材料を回収して適切な処理容器に入れる。

#### 環境に対する注意事項

下水道、排水溝、地下または閉鎖空間および水路への侵入を防ぐ。

### セクション 7：取扱い及び保管上の注意

#### 安全取扱のための注意事項

指示通りに使用する場合、本品は重大な悪影響のない製品である。

#### 安全な保管条件、混触危険物質

分類基準に従って、混触危険物質はない。

保管条件に関する情報：現行の規則及び基準に従って保管し、取り扱うこと。

清潔で乾燥した涼しい場所に保管する。直射日光、高湿度、蛍光灯を避ける。

#### 混触危険物質

本品に関する情報なし。

### セクション 8：暴露防止及び保護措置

#### 成分への暴露限界

下記の組成成分は、PEL、TLV または推奨される暴露限界を含む本品の組成成分のみに関する。現時点で、他の組成成分に関する暴露限界の知見はない。

#### EU－職業暴露（98/24/EC）－拘束力のある生物学的限界値と健康監視措置

本品のどの成分に対しても生物学的限界値の設定はない。

#### ACGIH－許容限界値－生物学的暴露指標(BEI)

本品のどの成分に対しても生物学的限界値の設定はない。

#### 設備対策

通常の使用条件下で、特別な換気装置は必要ない。

#### 個人保護措置、身体保護具など

##### 眼/顔の保護

通常の使用条件下で、眼の保護は必要ない。

##### 皮膚の保護

通常の使用条件下で、保護衣は必要ない。

##### 呼吸器の保護

通常の使用条件下で、呼吸器保護は必要ない。

##### 手袋の推奨

適用なし。

### セクション 9：物理的および化学的性質

外観	手袋	物理的状态	固体
臭い	該当なし	色	青色
臭気限界	該当なし	pH	該当なし
融点	該当なし	沸点	該当なし
沸点範囲	該当なし	凝固点	該当なし
蒸発率	該当なし	引火性 (固体、気体)	該当なし
自己発火温度	該当なし	引火点	該当なし
爆発下限	該当なし	分解温度	該当なし
爆発上限	該当なし	蒸気圧	該当なし
蒸気密度 (エア=1)	該当なし	比重 (水=1)	該当なし
水に対する溶解性	該当なし	分配係数 : n-オクタノール/水	該当なし
粘度	該当なし	溶解性 (その他)	該当なし
密度	0.92	物理的形状	固体
分子量	該当なし		

## セクション 10 : 安定性及び反応性

### 反応性

危険有害な反応は予想されない。

### 化学安定性

通常の条件下で安定している。

### 危険有害な反応の可能性

本品に関する情報なし。

### 避けるべき条件

直射日光、高湿度、蛍光灯を避ける。

### 混触危険物質

本品に関する情報なし。

### 危険有害な分解生成物

知見なし

## セクション 11 : 有害性情報

### 可能性のある暴露経路情報

#### 吸入した場合

悪影響は予想されない。

#### 皮膚に接触した場合

アレルギーが起こることがある。

**眼に接触した場合**

悪影響は予想されない。

**飲み込んだ場合**

悪影響は予想されない。

**急性及び慢性毒性****成分分析—LD50/LC50**

本材料の成分を多様な対象源で検査したが、選択した評価項目は同定されなかった。

**製品毒性データ****急性毒性推定値**

データなし

**即時的影響**

悪影響は予想されない。

**遅発的影響**

悪影響は予想されない。

**刺激性/腐食性データ**

本品に関する情報なし。

**呼吸器感作性**

本品に関する情報なし。

**皮膚感作性**

アレルギーを起こすことがある。

**成分のがん原性**

IARC:	補足 7 [1987];モノグラフ 19[1979] (グループ 3(分類不能))
IARC:	補足 7 [1987];モノグラフ 19[1979] (グループ 3(分類不能))

本品に関する情報なし。

**生殖細胞変異原性**

本品に関する情報なし。

**腫瘍形成データ**

本品に関する情報なし。

**生殖毒性**

本品に関する情報なし。

**特定標的臓器毒性—単回暴露**

標的臓器は同定されない。

**特定標的臓器毒性—反復暴露**

標的臓器は同定されない。

**誤嚥による有害作用**

該当なし。

**暴露によって悪化する健康状態**

本品に関する情報なし。

**セクション 12 : 環境影響情報****成分分析—水生毒性**

LOLI 生態毒性データは、本製品の成分に利用不可。

**残留性/分解性**

本品に関する情報なし。

**生体蓄積性**

本品に関する情報なし。

**移動性**

本品に関する情報なし。

**生物濃縮**

本品に関する情報なし。

**その他の毒性**

本品に関する情報なし。

**セクション 13：廃棄上の注意**

**処理方法**

地区、地域、国及び国際規則に従って材料を廃棄する。

**セクション 14：輸送上の注意**

**US DOT 情報：**

UN/NA#：危険物としての規制なし。

**TDG 情報：**

UN#：危険物としての規制なし。

**セクション 15：適用法令**

**米国連邦規則**

本品のどの成分も SARA セクション 302/304 (40 CFR 355 追補 A)、SARA セクション 313 (40 CFR 372.65)、CERCLA (40 CFR 302.4)、TSCA 12(b)に記載されておらず、OSHA プロセス安全監理計画の必要はない。

**SARA セクション 311/312 (40 CFR 370 下位区分 B と C)**

急性健康障害：なし 慢性健康障害：なし 火災：なし 圧力：なし 反応性：なし

**米国州規則**

本品の成分のどれも CA、MA、MN、NJ、PA の州リストに記載されていない。

カリフォルニア州プロポジション 65 に記載されていない

**カナダの規則**

**カナダ WHMIS 成分開示リスト(IDL)**

本品の成分は IDL に記載されていない。IDL に記載された限界値以下である。

**成分分析一覧**

**成分名：**

US	CA	EU	AU	PH	JP - ENCS	JP - ISHL	KR - KECL/KECL	KR - TCCA	CN	NZ	MX	TW
あり	DSL	なし	あり	あり	あり	なし	あり	なし	あり	あり	あり	あり

**セクション 16：その他の情報**

**NEPA 格付け**

健康障害：2 引火性：0 反応性：0

危険有害性等級：0=極小、1=軽度、2=中程度、3=重度、4=重篤

## 変更の概要

新しい SDS : 2017 年 1 月 5 日

## 略語一覧

ACGIH : 米国産業衛生専門家会議、ADR : ヨーロッパ内陸水路危険物運送規定、AU : オーストラリア、BOD : 生物化学的酸素要求量、C : 摂氏、CA : カナダ、CA/MA/NJ/PA : カルフォルニア州/マサチューセッツ州/ミネソタ州/ニュージャージー州/ペンシルバニア州\*、CAS : 化学情報検索サービス機関、CFR : 連邦規則集 (米国)、CERCLA : 総合的環境対策・補償及び責務に関する法律、CLP : 分類表示包装規則、CN : 中国、CPR : 管理製品規則、DFG : ドイツ研究振興協会、DOT : 米国運輸省、DSD : 危険物質指令、DSL : 国内物質リスト、EC : 欧州委員会、EEC : 欧州経済共同体、EIN : 欧州危険物質リスト、EINECS : 欧州既存商業化学物質リスト、ENCS : 日本の化審法の既存化学物質リスト、EPA : 米国環境保護局、EU : 欧州連合、F : 華氏、IARC : 国際がん研究機関、IATA : 国際航空運送協会、ICAO : 国際民間航空機関、IDL : 成分開示リスト、IDLH : 生命または健康に対する差し迫った危険、IMDG : 国際海上危険物規程、ISHL : 日本の労働安全衛生法、JUCLID : 国際統一化学情報データベース、JP : 日本、Kow : オクタノール/水分配係数、KECI : 韓国既存化学物質名簿、KECL : 韓国依存化学物質目録、KR : 韓国、LD50/LC50 : 半数致死量/半数致死濃度、LEL : 爆発下限界、LLV : レベル限界値、LOLI : list Of Liststm-ChemADVISOR の規則データベース、MAK : 作業場の最大濃度値、MEL : 最大暴露限界、MX : メキシコ、NDSL : 非国内物質リスト(カナダ)、NFPA : 全米防火協会、NIOSH : 国立労働安全衛生研究所、NJTSR : ニュージャージー州企業秘密登録、NTP : 米国国家毒性プログラム、NZ : ニュージーランド、OSHA : 米国労働安全衛生管理局、PEL : 許容暴露限界、PH : フィリピン、RCRA : 米国資源保全再生法、REACH : 欧州連合化学物質の登録・評価・認可・制限に関する規則、RID : 欧州危険物国際鉄道輸送規則、SARA : スーパーファンド法修正・再授權法、STEL : 短時間暴露限界値、TCCA : 韓国有害物質規制法、TDG : 危険物輸送、TLV : 作業環境許容濃度、TSCA : 米国有害物質規制法、TW : 台湾、TWA : 時間加重平均値、UEL : 爆発上限界濃度、UN/NA : 国際連合/北米、US : 米国、VLE : 暴露限界値 (メキシコ)、WHMIS : 作業場危険有害性物質情報システム(カナダ)

## その他の情報 :

本安全データシートに記載する情報は必ずしも包括的ではなく、参考としてのみご利用ください。本書に記載する情報と推奨は真実だと確信していますが、当社は当該情報及び推奨に関して一切保証せず、本情報に依存して生じる全責任から免責されます。